

事業番号	340
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	給食センター施設管理事業(北部)						担当部	教育委員会事務局																		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	学校給食課																			
	事業期間	平成10年度			～	平成30年度以降		担当係	北部学校給食センター																		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		12 学校教育		2 安全でおいしい学校給食を提供します																				
		副目的																									
	予算区分	款	10	項	1	目	4	大	3	中	1																
	根拠法令・個別計画	学校給食法																									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	心身の成長著しい児童及び生徒の食生活の健全化を図る。																									
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> 給食調理及び対象小中学校8校の配膳業務、センターと配膳校間の配送業務を民間委託で実施。 児童及び生徒の成長に応じ栄養バランスのとれた献立を計画的に作成する。 給食用物資(食材)は安全性、味、価格等を考慮し厳選した物資を調理に使用する。 「学校給食衛生管理の基準」等により衛生管理の徹底を図り、食中毒は絶対に防止すると共に、委託業者も同様に衛生管理の徹底を義務付ける。 地元の農産物など地産地消による給食を推進する。 各小中学校との食数の連絡調整、給食費入金管理及び民間委託業者との連絡調整を行う。 設備等の保守点検を行う。 給食センターの運営に関する契約事務を行う。 <p>平成25年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>委託料</td> <td>93,982千円</td> <td>賄材料費</td> <td>233,277千円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>9,545千円</td> <td>その他</td> <td>35,839千円</td> </tr> </table> <p>職員の内訳 正職員2名(事務職)</p> <p>平成26年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>委託料</td> <td>101,794千円</td> <td>賄材料費</td> <td>264,133千円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>26,383千円</td> <td>その他</td> <td>36,436千円</td> </tr> </table> <p>職員の内訳 正職員2名(事務職)</p>										委託料	93,982千円	賄材料費	233,277千円	修繕料	9,545千円	その他	35,839千円	委託料	101,794千円	賄材料費	264,133千円	修繕料	26,383千円	その他	36,436千円
	委託料	93,982千円	賄材料費	233,277千円																							
修繕料	9,545千円	その他	35,839千円																								
委託料	101,794千円	賄材料費	264,133千円																								
修繕料	26,383千円	その他	36,436千円																								
受益者負担	有	小学校 220円×636,868食=140,110,960円 中学校 250円×369,859食= 92,464,750円						合計 232,575,710																			

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	385,480	393,672	372,643	428,746	
		正職員	従事者数	人	2.00	2.00	1.98	1.95
			人件費	千円	10,520	10,520	10,414	10,257
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	396,000	404,192	383,057	439,003
対前年比		%		102.0	94.7	114.6		
財源	一般財源	千円	167,912	163,644	149,830	174,870		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	228,088	240,548	233,227	264,133		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	調理食数	食	目標	—	—	—
実績				5,520	5,569	5,664	
業	給食関係委員会開催	回	目標	—	—	—	—
			実績	9	9	11	
績	小牧の農産物購入回数	回	目標	20	20	20	40
			実績	38	40	43	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	人為的事故等で給食が提供できなかった日	日	目標	0	0	0	0
実績			0	0	0		
業			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	給食調理及び対象小中学校8校の配膳業務、センターと配膳校間の配送業務を民間委託で行い、順調に業務が遂行できた。 また、アレルギーの対象児童・生徒に除去食を提供しているが、問題なく遂行することができ、児童生徒の健全な食生活を確保することができた。				
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・台風等の影響による、急な休校があった際の対応が困難であること。 ・施設建設から16年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいること。 				
		事業を縮小・廃止したときの影響	学校給食法に基づき実施しており、事業の廃止は困難である。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者の給食費等の未納に伴う教育扶助の代理納付拡大について、保護実施機関と調整し、平成26年度中に検討する。 				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	人為的事故等で給食が実施できなかった日も無く、さらに児童生徒へのアレルギー除去食の提供も問題なく遂行できているため、現状維持と判断した。					
	27年度以降の改善案	安全安心な食材で、学校給食を安定的に供給することを目指す。 また、そのためににより多くの地元食材を使用する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。